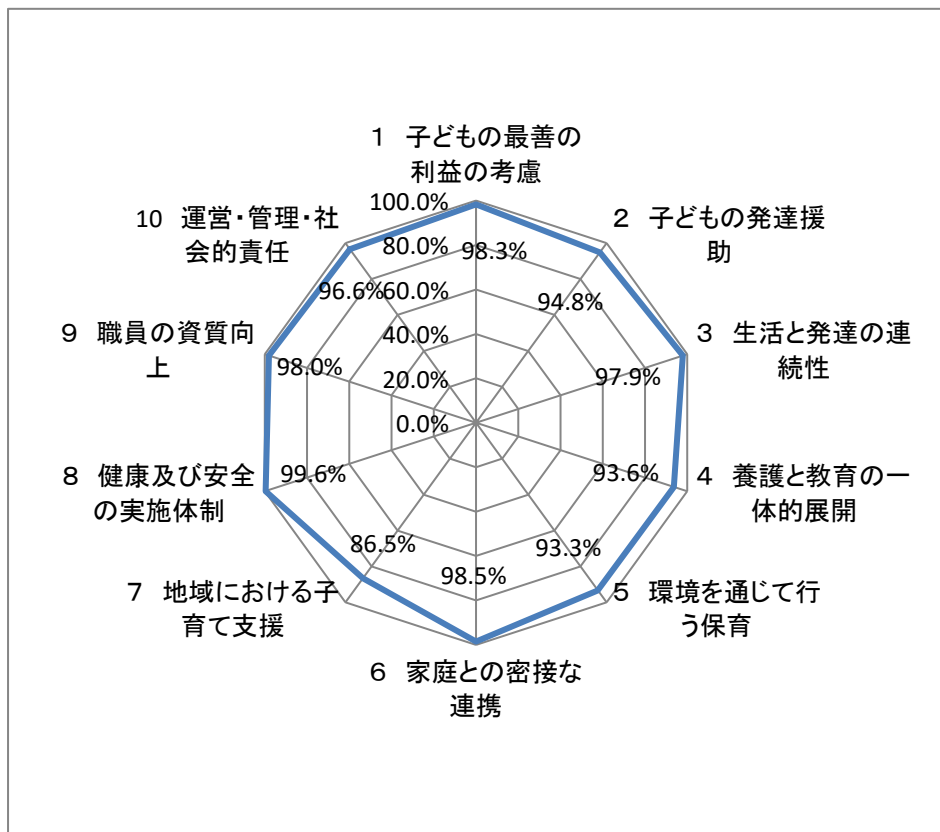


令和3年度 保育所自己評価の結果について

令和4年3月15日

ゆうゆうきッズ横浜

1 職員の自己評価（令和4年2月実施） （「十分理解している」・「理解していると」回答した割合）



2 取り組み状況 （努力した点）

- ・新型コロナウイルスへの感染防止に努めたなかで、2回休園措置をとることとなった。新しい生活様式への取組について、職員だけでなく園児や保護者の協力を得て進めることができた。

- ・園内職員による「あそび・食育」各委員会活動を充実させ保育実践にいかしたが、新型コロナウイルス感染防止のため一部実施できない活動があった。

- ・リスクマネジメント委員会(安全管理・事故防止)で遊具等の安全点検や嘔吐処理、乳幼児対象の救命救急法・AED操作・熱性けいれんの対応、エピペンの使用方法などを継続的に学んだ。

- ・「地域における子育て支援」が理解している(できている)という評価は昨年83.2%、今年度86.5%と全体では低位である。新型コロナウイルス感染防止のため区の子育て支援事業、子安小学校や地域の保育園との交流ができなかったのが要因だが、創意工夫し改善していく。

（課題・改善点）

- ・家庭との密接な関係や地域における子育て支援など「子どものしあわせとお父さんお母さんの子育てを支援します」という保育理念を一層推進していけるよう努力していく。

- ・収束が見通せない新型コロナウイルスの感染防止対策が喫緊の課題であるが、感染防止と保育を両立させられるよう新しい生活様式に園独自の創意工夫を行い進めて行く。